

「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 7 月 1 日

事業名称		教育指導管理事務費 [総合的な学習の時間等]										
予算科目	款	10	教育費	項	1	教育総務費	目	3	教育指導費	事業番号	11	
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)											
担当部署・課長名	教育指導			課			指導			係	課長名	佐藤 洋士
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。									施策番号	1 - 1		
【施策名】 学校教育の充実									総合計画書(ページ)	31		
この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 小学校では3年生以上、中学校では全学年において、総合的な学習で必要となる講師謝礼や教材等の購入費をそれぞれの学校の実情に応じて支出している。					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 総合的な学習の時間(小学校：年間70時間)						
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 小・中学校においては、体験活動等を通じて、様々な分野に児童生徒の興味関心を持たせることを目的として、総合的な学習の時間を実施している。					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)						
	③ そのために何をしましたか。 小・中学校における総合的な学習の時間等に必要となる講師謝礼や教材等の消耗品を購入するための経費を計上している。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 総合的な学習の時間に係る経費として支出した金額						
指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標				
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績		令和2年度目標	令和3年度目標			
	対象指標	①の数値	時間	70	70	70						
	成果指標	②の数値										
	目 標	②の目標値	目標値設定の考え方									
	活動指標	③の数値	円	1,195,876	1,343,978	1,053,234						
3 経費	事業費(実績)		円	1,195,876	1,343,978	1,053,234		※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,310,000 円 時間単価は、4,300 円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円	1,195,876	1,343,978	1,053,234						
		特定財源	円									
		(うち受益者負担)	円									
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.01	0.01	0.01						
		所要人数(再任用)	人									
	職員人件費(再任用以外)	円	82,670	82,530	83,100							
	職員人件費(再任用)	円										
	事業費+人件費	円	1,278,546	1,426,508	1,136,334							
4 環境変化等	(1) 開始年度		年度									
	(2) 環境の変化 総合的な学習の時間は、国語やほかの教科と同様に年間(コマ)時数が定められており、新しい学習指導要領でも、より実践的な教育活動とするような見直しが必要となっている(開始時期不明)。											

事業名称	教育指導管理事務費 [総合的な学習の時間等]			
担当部署・課長名	教育指導	課	指導	係 課長名 佐藤 洋士

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について	
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。(複数回答可)	
	<input type="checkbox"/> 取り組んだ <input checked="" type="checkbox"/> 取り組まない	取組手法： 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体：) ⑦後援・場の提供 ⑧その他()
	(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点	
7 課題	(1)平成31年度に課題とした内容(「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題(3)を転記)	
	他の国・都の委託事業でも講師を招聘する機会が多く、事業の主旨や目的にあった講師を探し、招聘することが難しくなっている。	
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。	
8 施策貢献状況 (この仕事は、総合計画(基本計画)に掲げる課題の解決手段になっているか。)	施策名： 学校教育の充実 <input type="checkbox"/> なっている <input checked="" type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある(事業名：)	
	(1)仕事の方向性(「7 課題(3)」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など)	
9 今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 【取組内容】	
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 指導主事との連絡調整。	